

2019年 12月6日(金)
13:00～15:00

東北大学川内北キャンパス
教育・学生総合支援センター 東棟 4階 大会議室

大学は、人類社会の未来を切り開く希望であり、国境を超えた公共的なものであり、大学ランキングに一喜一憂するけちなものではない。しかし、高等教育政策は、この15年間混迷を深め、民主党政権・第2次安倍政権を通じて、内閣(官邸)による政策策定が強化され、あたかも産業イノベーションのために大学があるかのように扱われている。

とりわけ、2014年から2015年にかけて、内閣府設置法改正による科学技術関係予算の調整権の内閣府への移管、国家公務員法改正による内閣人事局と総理大臣補佐官の設置、独立行政法人通則法改正による文部科学大臣の組織改革権限の実質化、国家行政組織法改正による内閣の総合調整権による省庁分担管理主義の弱体化という一連の行政改革は、大学固有の価値に深刻な問題を引きおこしている。こうした機構改革の下で、「(大学を)「真理を探究」から国家戦略の一つとしてとらえなおさないと、日本は勝てない」と一内閣府官僚が、教育基本法・学校教育法において定められた大学の根本原理を否定する言説を公然と述べる異常事態が生じた。法人化の際には研究者も喧々諤々の論議を繰り広げたが、それより大規模な集権化が進みながら、ほとんど論ずるところがない。大学人は、教養として高等教育政策の現在を知る必要がある。本セミナーでは、2010年代の高等教育政策を検討し、高等教育研究の課題も論じる。

講師：羽田 貴史
(広島大学・東北大学 名誉教授)

福島大学助教授、広島大学 助教授、教授、東北大学教授を経て、2018年3月退職。専門は大学史・高等教育論。主著「高等教育研究の制度化と教育社会学—分化と統合—」『教育社会学研究』第104集(2019年6月)、『大学の組織とガバナンス(高等教育研究論集1)』(単著、2019年3月)、『グローバル社会における高度教養教育を求めて』(編著、2018年4月)、『組織としての大学(シリーズ大学第6巻)』(分担執筆、2013年、岩波書店)など。

日本の 高等教育 政策

designed by freepik.com

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

東北大学高度教養教育・学生支援機構 検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Fax.022-795-4749
Email. iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

主催 東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター